Reborn lighter, rise faster

ARCシリーズが新たな高みに到達

ARCシリーズは、空力特性を最適化した究極のロードホイールとして開発されました。第2世代はより高速化し、空力特性において新たな記録を打ち立てました。その後まもなくしてARC DISCホイールが登場し、シリーズが完成しました。そして今回、山岳ステージを制覇したいライダーをサポートするために作られたARC 1100 DICUT 38がDT Swissから登場します。新開発のカーボンレイアップを採用したリム高38mmのこのホイールは、ARCシリーズ最軽量のホイールであるだけでなく、入念な空力特性の最適化により、頂上まで素早く駆け上がることが可能です。

新たな高みに到達

風洞試験データ

新たな高みに到達

新しい38mmのリム高は、ARCシリーズの中で最も低く、1292gと最軽量でもあります。1秒を競うスピーディーな登り区間では、空力特性を最適化したリム形状に加えて、貴重なグラム数を抑えることが上位に食い込むための重要な要素となります。

スイートスポット

究極のクライミング・ホイールセットを創り出すプロセスで、私たちは空力特性と重量の最適なバランスを見つけることに挑戦しました。リムの重量を減らすことと空力特性の最適化は逆相関の関係にあるため、これはかなりの難題でした。リムの重量を減らす直接的な方法はリム高を低くすることですが、これにより重量面での抵抗を増加させてしまうことになります。最終的に私たちが到達した答えは38mmでした。このリム高によって、貴重な空力特性最適化を維持しながら、1300gという軽量ホイールの壁を打ち破ることができたのです。

プロからも厚い信頼

チューダー・プロサイクリングとUno-Xモビリティの2つのプロチームが、シーズンの山場であるグランツールに向けた準備でARC 1100 DICUT 38の試乗を行っています。新型のARC 1100 DICUT 38は、山岳ステージや標高差のあるワンデーレースで使用される予定です。ライダーは登りではホイールの軽さを楽しみ、下りではホイールによるコントロールとスピードを体感できます。

風洞試験データ：

ARC 1100 DICUT 38とARC 50の比較

リム高の低いARC 1100 DICUT 38は、リム高の高いARC 1100 DICUT 50に比べ、空気抵抗はわずかに大きいが、重量は軽いという結果が出ました。高速での登坂、下り、平地走行では空力特性の最適化が有利に働き、急角度の登りの場面では軽量性がゲームチェンジャーとなります。

ARC 1100 DICUT 38と他のブランドの比較

風洞試験では、他のホイールブランドのクライミングホイールとの競争で優位に立っていることが確認されました。これらの試験で最も低い抵抗が測定された新しいARC 1100 DICUT 38は、空力特性が最適化されており、頂上までの道のりで貴重な数秒を節約できるので、理想のクライミングバイクには欠かせない要素となることが明らかです。

風洞試験では、Continental GP 5000s TR 25cを使用し、時速45kmで計測されました。